

科目名	精神医学Ⅰ（総論）【理学・作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	太 田 保 之						
開講年次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	1）臨床症状的視点・社会適応的視点からみた各精神障害の自然史、2）各精神障害の臨床経過・転帰に影響を及ぼす治療法、治療環境、治療促進・阻害要因、3）各精神障害の各臨床ステージにおける症状群から患者の機能障害、活動・活動制限、参加・参加制約などの系統的な評価について概説する。						
授 業 の 到達目標	1）各精神障害の精神症状が説明できる。 2）各精神障害の臨床経過が説明できる。 3）各精神障害の治療法が説明できる。 4）各精神障害の社会的転帰が説明できる。 5）一定の臨床的基準を用いて、各精神障害の鑑別点が説明できる。 6）臨床実践に必要な法律が説明できる。 7）標準化された尺度で精神症状が評価できる。 8）提示された事例の病歴から、症状の経過が臨床的に説明できる。 9）提示された事例の病歴から、社会的転帰が説明できる。 10）提示された研究成果の図表を、論理的に解釈できる。						
学習方法	講義						
テキスト及び 参考書等	太田保之・上野武治（編著）学生のための精神医学 （医歯薬出版株式会社）						
評価基準・方法	到達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎				100	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ◎評価する観点 ○評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	精神医学の概念と関連領域						
第 2 週	統合失調症 病因、基本症状						
第 3 週	統合失調症 臨床経過						
第 4 週	統合失調症 治療、転帰						
第 5 週	気分障害 病因、基本症状、臨床経過						
第 6 週	気分障害 治療、転帰						
第 7 週	神経症性障害 病因、基本症状、臨床経過						
第 8 週	神経症性障害 治療、転帰						
第 9 週	器質性精神障害 病因、基本症状、臨床経過						
第 10 週	器質性精神障害 治療、転帰						
第 11 週	中毒性精神障害 病因、基本症状、臨床経過						
第 12 週	成人の人格障害 基本症状、臨床経過						
第 13 週	児童・思春期の精神障害 基本症状、臨床経過						
第 14 週	包括的治療（薬物療法、心理社会的療法など）						
第 15 週	法律（精神保健福祉法など）						
第 16 週							
備 考	1）事前に配布する資料や教科書等で予備知識を持つこと。 2）講義中の討議には積極的に参加すること。						